



 ～ふるさとを愛する形中生～



4年ぶり桜会ボランティアに復活!



2/18(日)、コロナと天候不順のために休止していた桜会ボランティアが、4年ぶりに復活しました。入試日程の前倒しなどで、3年生の参加が難しい状況でしたが、約50名のボランティアが集まりました。生徒たちは、地元の方が春日山で気持ちよく花見をしてもらえるように、一生懸命、枯れ枝や雑草などを運び出し、会場を美しくしました。



解散式では、桜会の市川会長から「例年より人数が少なく心配したけど、1人1人の動きが素晴らしく、短時間で作業を終えることができました。ありがとう。」とお褒めの言葉をいただきました。



休憩の時には、桜会さんからお菓子とお茶の差し入れをいただき、帰りには「まめだ会」と「みつば葵会」さんがつくってくださった油菓子をお土産でいただきました。地元の方の形中生への愛を感じ、温かい気持ちになりました。



桜会ボランティアへ差し入れの油菓子をつくる「まめだ会」と「みつば葵会」のみなさん

校長授業

卒業生へ



2/20(火)21(水)、卒業生へ「校長による最後の授業」をおこないました。例年この時期に行っていたのですが、今年は私にとっても本当に最後の授業でした。「これでもう2度と生徒の前で授業をすることがないのか」と思うと、胸にこみ上げてくるものがありました。

卒業生のみなさん、真剣に聴いてくれてありがとう。授業の中で話した「3つのアドバイス」を大切にして、これからの人生を楽しく、充実したものにしてください。

形原の伝統芸能 ちゃらぼこ体験授業

2/22(木)、拾石ちゃらぼこ保存会の方をお招きし、1年生を対象に「ちゃらぼこ」の授業(音楽)を行いました。今年で3年連続の開催となり、これで現形中生の全員がちゃらぼこを体験したことになります。本校の伝統授業になりつつありますね。

拾石ちゃらぼこ保存会は、形原天満神社の流れをくむそうです。来賓玄関には3区のちゃらぼこ屋台が展示してありますが、その他にも形原では多くの区や神社でちゃらぼこが行われていました。伝統芸能「ちゃらぼこ」を継承していくために、みなさんが「ちゃらぼこ」に興味をもったり、やってみたいと思ってくれるとうれしいです。



形原を愛する
心を育てよう

形原駅で 地域の方へ



地域の方に
感謝の気持ちを
伝えよう

日頃からお世話になっている地域の方に感謝の気持ちを伝えるため、また、形原を元気にするために、生徒会が、2月の最終週(2/26～3/1)に形原駅であいさつ運動をおこなっています。執行部の呼びかけに沢山のボランティアが集まりました。「おはようございます」と元気よく、声をかけると、通勤・通学の方もあいさつを返してくれて、駅周辺がさわやかな雰囲気に包まれました。

3年生に
感謝の気持ちを
伝えよう

卒業式用 ロープコサージュ作成(中2)

3/6(水)の卒業式で、3年生が胸につけるロープコサージュ(梅結)を、2年生が作りました。今年からは、クラフトフェア実行委員の方の力を借りず、タブレットで「作り方ビデオ」を観ながら、1人1人が制作しました。

作るのに悪戦苦闘をしている子、「くらふとフェア蒲郡2023」の経験から難なく作ってしまう子など様々でしたが、3年生にはきっと感謝の気持ちが伝わると思います。

次は、新入生用のコサージュを1年生が制作する予定です。「ロープコサージュを作れるのが形中生の証」となるよう、頑張っ腕を磨いてほしいと思います。

